

2011年8月2日

第1回複合材型加工研究会セミナー 開催趣旨

様々な包装材を使って成形される化粧箱，輸送箱，紙容器，樹脂容器等の印刷と成形に関する抜型加工は，印刷紙器業界の基盤技術であり，安定した高速生産と工具寿命予測の高精度化などが絶えず求められている。

また同様の抜型技術は，フィルム類の複雑で微小な成形品の切断加工にもよく用いられ，その加工技術の工業的価値は高い。被加工材の多様性と進歩に対して加工技術の追随発展が期待されるが，従来，各種問題点の工学的な体系化や理論分析が十分にはなされていない側面がある。

この研究会では，現場の研究者や装置開発に携わる技術者にとって必要な要素技術的な抜型加工の基本原則を勉強してもらうことを1つの目的として，研究セミナーの形で呼び掛けることにした。また，集会を通じて，抜型加工に対する需要と共通の問題点を確認する交流の機会を提供したい。

この度，日本塑性加工学会の平成23年度学会活性化活動資金を受けて，セミナー等の活動を通じて，抜型加工の特徴ならびに板紙や樹脂を組み合わせた複合材の成形加工特性に関する基礎研究の実際問題への展開を目指して，当該産業界から広く参集していただいて勉強会を開催するものである。

複合材型加工研究会 代表
長岡技術科学大学 永澤 茂